

# 三浦達司教授 略歴および研究業績

## 学 歴

- 昭和41年3月 大阪工業大学工学部工業経営学科卒業  
昭和41年4月 早稲田大学大学院理工学研究科特殊研究生入学  
昭和43年3月 早稲田大学大学院理工学研究科特殊研究生修了  
昭和43年4月 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程入学  
昭和45年3月 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了  
昭和45年4月 早稲田大学大学院理工学研究科博士課程入学  
昭和48年3月 早稲田大学大学院理工学研究科博士単位取得満期退学

## 職 歴

- 昭和46年4月 東京理科大学理工学部経営工学科授業嘱託  
生産工学実験の講義及び実験担当（昭和51年9月まで）  
昭和48年4月 安田工業専門学校機械工学科兼任講師  
工場経営担当（昭和53年3月まで）  
昭和49年4月 早稲田大学兼任講師（産業技術専修学校産業経営学科）  
生産管理担当（昭和53年3月まで）  
昭和51年10月 東京理科大学理工学部経営工学科兼任講師  
生産管理・生産工学実験の講義及び実験担当（現在に至る）  
昭和53年9月 東京職業訓練短期大学校兼任講師  
生産工学・生産工学実験担当（昭和54年3月まで）  
昭和54年4月 高崎経済大学経済学部経営学科講師  
生産管理・インダストリアル・エンジニアリング・ゼミ担当（昭和55年3月まで）  
昭和55年4月 高崎経済大学経済学部経営学科助教授  
生産管理・インダストリアル・エンジニアリング・ゼミ担当（昭和61年3月まで）  
昭和55年4月 大学設置審議会教員組織審査の判定  
高崎経済大学、助教授、生産管理・インダストリアル・エンジニアリング・ゼミ  
担当  
昭和61年4月 高崎経済大学経済学部経営学科教授  
生産管理・経営工学・演習Ⅰ・演習Ⅱ担当（平成17年8月まで）  
昭和63年4月 白鷗大学兼任講師

生産管理論・管理工学・演習担当（平成11年3月まで）  
 平成11年4月 白鷗大学兼任講師  
 生産管理論・管理工学担当（現在に至る）  
 平成17年9月 高崎経済大学経済学部経営学科教授  
 生産管理・経営工学・基礎演習・演習Ⅰ・演習Ⅱ担当（現在に至る）

### 高崎経済大学での主な役職

平成2年2月～平成6年1月 学生相談室長（2期）  
 平成6年2月～平成8年3月 経営学科長（1期）  
 平成10年4月～平成14年3月 就職委員長（2期）  
 平成16年4月～現在に至る 評議員（2期）

### 学会及び社会における活動等

昭和41年～現在 日本経営工学会・会員  
 昭和45年～現在 日本IE協会・会員  
 昭和46年～平成14年 専門機関誌（日本IE協会）IE review 編集実務委員  
 昭和55年～現在 同上IE review レフェリ委員  
 平成2年～平成6年 同上IE review 編集委員会（委員長）  
 平成2年～現在 日本IE協会・特別会員（理事）  
 昭和60年～平成3年 日本経営工学会・評議委員  
 平成3年～平成10年 同上経営工学会誌・レフェリ委員  
 昭和50年～昭和53年 日本機械工業連合会、日本食品機械工業会  
 食品機械の標準化委員会・委員（主査）  
 昭和54年～昭和57年 日本機械工業連合会、日本食品機械工業会  
 食品機械の安全化・衛生化委員会・委員（主査）  
 昭和58年～昭和61年 日本機械工業連合会、日本食品機械工業会  
 多品種食品自動供給システム研究委員会・委員（主査）  
 昭和62年～昭和63年 日本機械工業連合会、日本食品機械工業会  
 欧米主要国における食品加工先端技術開発動向の調査・研究会・委員  
 （委員長）  
 昭和63年～平成2年 日本機械工業連合会、日本食品機械工業会  
 食料品加工機械製造業における異業種分野技術との融合可能性に関する  
 調査・研究委員会・委員（委員長）  
 平成7年～平成9年 日本機械工業連合会、日本食品機械工業会

	食品機械の安全・衛生とPL問題への対応に関する調査・研究委員会・委員（主査）
平成7年～平成17年	日本食品機械工業会 食料品加工機械のJIS改正委員会（主査）
平成6年～平成11年	食品産業センター「食品工場、安全性向上総合管理システム」－操業最適化・トラブル対策支援システム開発事業－委員会（委員長）
平成11年～平成14年	食品産業センター「食品製造工程危機管理システム開発事業」委員会（委員長）
平成18年～現在	高崎市建築審査委員会・委員

## 賞 罰

昭和50年5月	第4回日本IE文献賞受賞（日本インダストリアル・エンジニアリング協会）
昭和52年5月	第21回日本規格協会標準化文献賞受賞（日本規格協会）
昭和53年5月	日本食品機械工業会より「標準化の研究」に対し表彰状授与
昭和63年5月	日本食品機械工業会より「事業推進特別功労」に対し感謝状授与
平成10年5月	日本食品機械工業会より「事業推進特別功労」に対し感謝状授与

## 研究業績

### （著書）

1. MODAPTS（共） 日本モダプツ協会、昭和53年4月
2. モダプツ法による経営効率化への新しいアプローチ（単） 日刊工業新聞社「工場管理」第29号 第9巻、昭和58年8月
3. 現場を改善する事典－新しい小集団活動の展開はモダプツ法で－（単） 日刊工業新聞、昭和59年1月
4. TRANSIT MODAPTS（共） 日本モダプツ協会、昭和62年10月
5. OFFICE MODAPTS（共） 日本モダプツ協会、昭和62年10月
6. ライン編成マニュアル（単） 日本モダプツ協会、昭和62年10月
7. 新しいワークスタディ（共） 技法堂出版、昭和62年9月
8. Automatic Assembly Systems In Japan And Related Industrial Engineering Problems（共） AIIE、平成5年
9. 理工学事典（共） 日刊工業新聞社、平成8年3月
10. 本業を軸に新事業転換への一方策－食料品加工機械工業を例とした異業種分野技術との融合を中心として－（単） 日本経済評論社、平成9年3月
11. JIS B 9650－1 食料品加工機械の安全及び衛生に関する設計基準通則第1部（共・主査）

日本規格協会、平成15年3月

12. JIS B 9650-2 食料品加工機械の安全及び衛生に関する設計基準通則第2部 (共・主査)  
日本規格協会、平成15年3月
13. JIS B 9651 製パン機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成17年10月
14. JIS B 9652 製菓機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成17年10月
15. JIS B 9653 肉類加工機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成15年10月
16. JIS B 9654 水産加工機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成17年10月
17. JIS B 9655 製粉機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成16年10月
18. JIS B 9656 製めん機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成17年9月
19. JIS B 9657 飲料加工機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成16年10月
20. JIS B 9658 精米麦機械の安全及び衛生に関する設計基準 (共・主査) 日本規格協会、平成16年10月
21. 食品加工機械の取扱説明書作成のためのガイドライン (単) 日本食品機械工業会、平成17年3月

#### (学術論文)

1. 非量産工場における工程の系列化に関する研究－複種ラインの工程設計－ (修士論文) (単)  
早稲田大学大学院理工学研究彙報、昭和45年2月
2. グループ・テクノロジーに関する研究－段取時間を考慮した部品の投入順序に関する研究－ (共) 日本工業経営学会春季研究会予稿集、昭和47年5月
3. 使用機械の選択に関する研究 (共) 日本工業経営学会秋季研究会予稿集、昭和48年11月
4. 部品の投入順序に関する (共) 研究日本工業経営学会春季研究会予稿集、昭和49年5月
5. グループ・テクノロジーへの数量分類法の適用に関する一考察 (その1) (共) 日本IE協会「IEレビュー」第15巻4号、昭和49年5月
6. グループ・テクノロジーへの数量分類法の適用に関する一考察 (その2) (共) 日本IE協会「IEレビュー」第15巻5号、昭和49年9月
7. プレス作業の安全化・省力化に関する研究－金型へのワーク・ポジショニングの解析－ (共)

日本工業経営学会秋季研究会予稿集、昭和49年11月

8. 段取時間を考慮した部品のラインへの投入順序に関する研究（共） 日本工業経営学会春季研究会予稿集、昭和50年5月
9. 使用機械の選択に関する研究－総加工時間、総工作期間の最小化を図る使用機械の選択に関する問題－（単） 日本IE協会「IEレビュー」第16巻5号、昭和50年9月
10. 機械加工における段取作業時間値見積法に関する研究（共） 日本工業経営学会秋季経営会予稿集、昭和52年11月
11. 食品機械工業における鉄鋼材料（単） 日本鉄鋼協会第56回西山記念技術講座、昭和53年12月
12. モダプツによる部品のグルーピングに関する研究－電子部品における加工方法、組入方法による部品のグルーピング－（単） 日本モダプツ協会紀要No.2、昭和54年5月
13. モダプツにおける工程設計に関する研究－電子部品の組込工程における作業編成方式の設計－（単） 日本モダプツ協会紀要No.2、昭和54年5月
14. 標準化に関する研究－食品機械の標準化に関する研究－（単） 高崎経済大学論集第22巻3号、昭和55年2月
15. グループ・テクノロジーに関する研究－段取時間を考慮した部品の投入順序に関する研究－（単） 高崎経済大学論集附属研究所紀要第16巻1号、昭和55年9月
16. グループ・テクノロジーに関する研究－段取時間を考慮した部品のGTラインへの投入順序に関する研究－（単） 高崎経済大学論集第24巻1号、昭和56年11月
17. 機械の安全衛生に関する研究－食品機械の安全・衛生に関する研究－（単） 高崎経済大学論集第24巻4号、昭和57年3月
18. 工程の設計に関する研究（単） 高崎経済大学論集附属研究所 紀要第17巻1号、昭和57年9月
19. 機械の安全・衛生に関する研究（単） 日本人間工学会生産システム部会、昭和58年5月
20. 障害者の雇用促進に関する研究（単） 経営労働学会、平成3年10月
21. 1992年；IEの重点課題（第1報）（共） 日本IE協会「IEレビュー」第33巻1号、平成4年3月
22. 自動化生産システムの導入状況（第2報）（共） 日本IE協会「IEレビュー」第33巻2号、平成4年5月
23. HACCPシステムを考慮した食品加工機械の安全・衛生設計に関する研究（上）（単） 高崎経済大学論集第48巻4号、平成18年3月
24. グループ・テクノロジーを活用した工程編成方式に関する研究（単） 高崎経済大学附属産業研究所 紀要第41巻2号、平成18年3月
25. HACCPシステムを考慮した食品加工機械の安全・衛生設計に関する研究（下）（単） 高崎経済大学論集第49巻1号、平成18年6月
26. ITを活用した予防保全システムに関する研究（上）－食品機械におけるITを活用した予防保

- 全システムの設計に関する研究－（単） 高崎経済大学論集第49巻2号、平成18年9月
27. トレーサビリティ・システム導入の為の自動化に関する研究（単） 高崎経済大学附属産業研究所 紀要第42巻1号、平成18年9月
  28. グループ・テクノロジーを活用した組立セル生産方式の編成に関する研究 高崎経済大学附属産業研究所 紀要第42巻2号、平成19年3月
  29. ITを活用した予防保全システムに関する研究（下）－食品機械におけるITを活用した予防保全システムの設計に関する研究－（単） 高崎経済大学論集第49巻3・4合併号、平成19年3月
  30. 食品加工機械におけるインテリジェント制御技術の導入による自動化システムの設計に関する研究（上）－画像処理による食品の日付検査自動化システムに関するモデルの設計－（単） 高崎経済大学論集第50巻1・2合併号、平成19年10月
  31. G.T方式における簡易方を活用したセル生産方式の評価に関する研究（単） 高崎経済大学附属産業研究所 紀要第43巻1・2号、平成19年11月
  32. 食品加工機械におけるインテリジェント制御技術の導入による自動化システムの設計に関する研究（下）－画像処理による食品の日付検査自動化システムに関するモデルの設計－（単） 高崎経済大学論集第50巻3・4合併号、平成20年3月

（その他）

1. 手作業の訓練に影響する要因－その2（単） 日本MTM協会、昭和49年5月
2. 有害物質を含む産業廃棄物の発生過程に関する研究（共） 厚生省環境衛生局厚生省委託49-2、昭和50年3月
3. 「圧す」の研究（単） 日本MTM協会、昭和50年3月
4. 食品機械の標準化に関する調査・研究（共） 日本機械工業連合会 50標 No.6、昭和51年3月
5. 食品機械の標準化に関する調査・研究（共） 日本機械工業連合会 51標 No.7、昭和52年6月
6. 食品機械の標準化に関する調査・研究（共） 日本機械工業連合会 52標 No.7、昭和53年7月
7. 障害者雇用の経済的負担（特別費用）の実態について（共） 身障雇用経営研究所労働省委託、昭和52年11月
8. 身体障害者の作業特性と作業工程の改良（共） 身体障害者雇用促進協会第8巻19号、昭和54年8月
9. 機械安全化に関する調査・研究－食品機械の安全・衛生化推進に関する研究－（共） 日本機械工業連合会54標 No.2、昭和55年5月
10. 80年代に対処した東芝 EPOC 運動（単） 日本IE協会「IEレビュー」第21巻2号、昭和55年

6月

11. 第三次産業における障害者の就労促進をはかるための環境改良（共） 身体障害者雇用促進協会第1巻28号、昭和55年7月
12. 身体障害者の職域拡大－肢体不自由－（共） 東京都、昭和57年3月
13. 身体障害者の職域拡大－視覚・聴覚不自由－（共） 東京都、昭和58年2月
14. 身体障害者の職域拡大－内部障害・精神薄弱－（共） 東京都、昭和59年2月
15. 21世紀の食文化を創造する企業（単） 日本IE協会「IEレビュー」第23巻3号、昭和57年9月
16. 第三セクター方式による重度障害者多数雇用事業所に関する調査研究（共） 東京都、昭和58年10月
17. 多種食品自動供給システムのモデル設計及び開発課題の検討（共） 日本食品機械工業会、昭和59年3月
18. NAC 活動で燃える集団づくり－株式会社足利銀行－（単） 日本IE協会「IEレビュー」第26巻2号、昭和60年5月
19. 障害者の雇用促進（共） 東京都、昭和62年3月
20. 群馬コンベンションシティ成立可能性調査・研究（共・委員） 日本経済研究所、昭和62年3月
21. IEについて（共） 日本IE協会「IEレビュー」第28巻4号、昭和62年10月
22. 障害者の雇用促進（共） 東京都、昭和63年3月
23. 欧米主要国における食品加工先端技術開発動向の調査・研究報告書（共・委員長） 日本機械工業連合会、昭和63年6月
24. 直接製品利益（Direct Product Profit, DPP）に関する調査・研究報告書（共・委員） 流通経済研究所、平成元年3月
25. 食料品加工機械製造業における異業種分野技術との融合可能性に関する調査・研究報告書（共・委員長） 日本機械工業連合会、平成元年3月
26. 食料品加工機械製造業における異業種分野技術との融合可能性に関する調査・研究報告書（共・委員長） 日本機械工業連合会、平成2年3月
27. IErの役割と将来展望（共） 日本IE協会「IEレビュー」第33巻4号、平成6年5月
28. 食料品加工機械の安全化と PL 問題への対応に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成7年4月
29. 食品機械の安全・衛生と PL 問題への対応に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成8年4月
30. 食品機械の安全・衛生と PL 問題への対応に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成9年4月
31. 食品機械の安全・衛生と PL 問題への対応に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成10年5月

32. 食品機械の HACCP システムへの対応に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成11年4月
33. 食品機械の HACCP システムへの対応に関する調査・報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成12年5月
34. 食品機械への先端 技術応用に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成13年3月
35. 食品機械の安全・衛生設計概論－食品機械の事故防止、警告表示－（単） 日本冷凍空調学会、平成13年5月
36. 21世紀のモノづくりと食品工業－食品工業における生産技術と先端技術－（上）（共） 光琳（出版社）「食品工業」8月号、平成13年8月
37. 21世紀のモノづくりと食品工業－食品工業における生産技術と先端技術－（下）（共） 光琳（出版社）「食品工業」9月号、平成13年9月
38. 食品機械への新素材応用に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成14年3月
39. 食品機械へのインテリジェント制御の応用に関する調査・研究報告書（共・主査） 日本機械工業連合会、平成15年3月
40. 機械工業の安全化技術に関する調査・研究報告書－食品加工機械を対象としたモデルケース分析調査－（共・主査） 日本機械工業連合会、平成16年3月
41. 21世紀のモノづくり IEr の役割（単） 日本IE協会「IE レビュー」第46巻2号、平成17年5月